

ひとりのねがいをみんなのねがいに ひとりみんなのために みんなはひとりのために

にじのたま

第2回総代会を開催します！

来る2020年6月27日に、福祉生協むのぎめ総代会が開催されることが決定しました。昨年末からの新型コロナウイルス感染症の影響で、3密（密閉、密接、密集）になりがちな集会の開催が難しく、今回の総代会も時期や開催方法を検討してまいりました。幸い、少しでも規模を小さくしたものの、通常どおりの総代会を開くことが決定しました。

2019年度は、居宅介護事業をスタートし、買物支援などのコミュニティセンターの取り組みを推進してきました。今季は医療事業を充実させ、福祉活動を中心にした組合員活動を拡げるなど、さらに飛躍する事業活動



写真は「第一回福祉生協むのぎめ総代会」の様子

をしていきたいと計画しております。県下総代のみなさまの声が、福祉生協をつくり、組合員の輪を拡げていきます。福祉生協むのぎめ2周年の総代会に、ぜひお集まりください。

第2回 福祉生協むのぎめ 総代会

◆開催日時 / 2020年
6月27日 (土)
13:30~15:00
時

◆開催場所 / 麦の芽福祉
会 みんなの2番館交流
スペース

予定議題

第1号議案 2019年度
事業報告、決算関係書類及
び剰余金処分案承認の件

監査報告
第2号議案 2020年度
事業計画、予算案の件

第3号議案 役員選任規約
改定の件

第4号議案 総会及び総代
会運営規約改訂の件

第5号議案 監事監査規則
制定

第6号議案 その他

小さな きょうどりの力

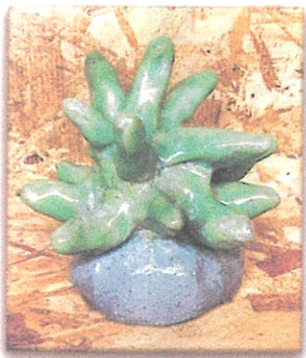
・まもりの木：が、麦の芽福祉会のすばるで働いている祥治さんの手から誕生して3年ぐらいいちます。祥治さんがよく描いていた、「つもの木の絵から生まれたまもりの木。焼きあがった時に「力を感じるね」「優しく見守ってくれそうだね」そんな会話の中で「まもりの木」という名前がつけられ今ではたくさんの方が手にされています。

つこの間の事。麦の芽とかかわりのある某会社にこのまもりの木を贈ったところ、その方々が大変大事に思っただけで下さり会社の玄関先に置いて下さいました。そして、社員の皆さんがそこを通る時にその木をなでていけると聞いています。粘土で作ったまもりの木はたくさんさんの枝葉を持ちどっしりと構え丸みを帯びています。のびのびと広がった枝葉はまるで不安な気持ちを受け止めてくれるかのようなそんな温かみを感じます。後日その取引先の社長さんにこちらから会いに行きました。

会社の玄関先に置かれた自分の作品を見て、「うれしかった！、社長室のイスがすっごく大きかったよ！、と印象深く自分の作品と自分自身の存在を重ねてきつと幸せな気持ちになったのではと推測します。なでてくださいました皆さんがすつと幸せでありますようにと願います。

障害をもつなかまたちにとって、自分の作品がこの様に、誰かの手に届く時が彼らの笑顔が最高に輝く時なのです。そして、このことは、なかまたちの存在が地域とのつながりをつくり、更にはそのつながりが福祉の抱える課題も共に切り拓いてゆくつながり（支援者）をもつていて、という大事な地域福祉づくりの役割を果たしていると思う出来事でした。

まもりの木



祥治さんの作品

(中野喜代子)



福祉生協2年目の幕開けに当たって 福祉生協むのぎめ理事長 清原 浩

2018年6月に福祉生協むのぎめが正式に設立されて、丸2年がたちました。そこで、あらためて、昨年度(2019年度)を振り返り、今年度(2020年度)は何をなすべきか、考えてみたいと思います。

昨年度には、今の社会福祉制度の中で、例えば買い物に行きたいけれど、車がない、バスがないなどで、障害認定を受けていれば外出支援を受けられるが、一般の方だとそうした支援は受けられないといったように、皆さんが困っているけどつかえる制度がないといったような諸課題を解決していくことという思いの中で、福祉生協を設立しました。そして、まず障害のある方が行きやすい診療所、そして一般の高齢者の方々が利用できる介護つき高齢者住宅、さらに高齢者の方々を対象とした訪問介護ステーションを立ち上げ、先に挙げた困難さの一部解消の試みを始めました。そうした事業を基礎に、今年度は、さらに福祉生協にふさわしい事業展開を計画しています。それは、福祉生協の組合員

の方々が困っている課題解決に向けて、様々な活動を展開するという事業です。たとえば、小さな旅などを実現する事業であれば、障害のある方々はなかなか旅行ができません。

そうした願いを組合員の方々が支援計画を練り、実施するといったイメージです。他に、数多くの困ったことがあり、現状の制度では解決できないのです。また、新年度では、高齢者の方々の訪問介護だけではなく、地域に暮らしている障害者の方々のための訪問介護ステーションを立ち上げます。

さらに、現在、玉竜協同大学で試みられている就労支援B型事業と生活介護事業を福祉生協の事業とし、福祉生協の役割を高めたい。以上のような取り組みの中で、組合員を増やし、事業展開を全県レベルに広げ、財政的基盤も強化していく方向です。皆様の一層のご支援、ご協力をお願いします。

みんなて出資し、

みんなて参加、

みんなて運営する



「福祉生協むのぎめ」で

みんなの願いを実現しよう!

福祉生協むのぎめは、前身である協同の組織むのぎめの理念を引き継いだ。組合員一人ひとりのねがいの組織です。

1981年「こんなに重い障害があろうとも働きたい」という障害を持つ人たちの願いと「0歳児からの療育の場を」という親たちの願いを全県11万人の支援のもと、療育の場と働く場が実現したことから始まりました。

以来、今日まで、本来の福祉のあり方を追求しつつ、地域の中で誰もが安心して暮らせる場づくりやコミュニケーションづくりを目指してきました。

これからは、組合員一人ひとりが出資し、その出資金を元手に、より文化的で平和な暮らしづくりのための組合員活動をつくり、組合員さん自身が参加し、運営していくことを、福祉生協むのぎめは目指しています。

【加入の手続き】

■趣旨に賛同される方、活動に参加したい方、事業所を利用したい方は、加入申込み書とともに、出資金100円以上(100000円)を納めていただきますと、組合員になります。

■出資金は、事業の運営や拡充に使われます。また、出資金は退会時に返還されます。■年齢の制限はありません。■出資金の増資は、100(10000円)から、随時申し受けます。

【もつと福祉生協のことを知りたい】何でもQ&A

Q. 加入のメリットは何ですか?

A. 通常考えられるメリットは、例えば、ポイントを貯めて欲しい商品が手に入るとします。このことは、その人の利益と、ひいては企業の利益に他なりません。一方、福祉生協では、自分たちがやりたいこと、組合員活動をみんな

まで出資し参加し、運営までも関わることができます。更に、この活動にもつと沢山の組合員が増えれば、一人の願いをみんなの願いとして実現していく事業活動の拡充につながっていきます。このことは、自分のみならず、福祉生協全体が充実し、よりよい暮らしにまた一歩近づいていくことです。但し、現物支給として、健康診断やインフルエンザの予防接種などは、組合員はお安くなります。

「つわと竹の子の炒り煮ゆっくりのんびり母ちゃん共同作業所」
 年齢を重ねてもさいごまで自分らしく みんなと共におつとめできる場と
 いつまでも存在感を豊かにできる場としてスタート

福祉生協むのぎめは、県内の買い物や日常の

暮らしが困難となっている人や地域と共に支援し
 あう社会福祉事業・運動をめざしています。そ
 の支援の内容は、買い物や軸にして高齢者共同
 作業所等のおつとめタイプと余暇・文化タイプ、
 通院お手伝いタイプに分けられます。

その試みとしては、高齢者共同作業所お
 つとめタイプと通院お手伝いのタイプにトライ
 & エラー中。コープがごしま玉竜店の2階に麦
 の芽福祉会の事業所「玉竜協同大学」がありま
 す。「つわと竹の子の炒り煮ゆっくりのんびり母
 ちゃん共同作業所」は、ここから始まりました。

この作業所の創立者の一人西村時子さん(8

0歳)は、麦の芽の家族会の一人として長年麦
 の芽の廃品回収やバザーでの資金作りを通して
 地域とつながり今日まで麦の芽と共に歩んでき
 た方。西村さんは、ここ数年大病と闘う日々が
 続きついには在宅療養することになりました。

そこで、西村さんのほかに足が不自由となり
 買い物かと思うようにならないという田中千鶴子
 さん(84歳)と符集セツ子さん(82歳)の3
 人で場所を西村さんのホームに移して活動を続
 けました。4月に入り、旬のつわと竹の子が店
 頭に並ぶようになり、さっそく「つわと竹の子

の炒り煮」と「鶏の炊き込みご飯」の作り

方をさんに教わりました。特に、炒り煮には西
 村さんの思い入れも深く突然ベッドから起き上
 がりエプロンを身につけ頭にはタオルをきりり
 つと締めて調理を始めたことがありました。そ
 のあとのみんなで昼食を食べておしゃべりをす
 るのはとても楽しいひと時です。

そんな母ちゃん共同作業所は、現在は、コー
 プ玉竜店の2階の作業所の一角で続行中です。
 (尚、改めて西村時子さんの
 ご冥福をお祈りいたします)

1、高齢者共同作業所おつとめタイプ

◎ 内容

お迎え ↓ 母ちゃん作業所活動 ↓ みんなでランチ
 ↓ コープがごしま玉竜店で買い物(支援) ↓ 送り

2、余暇・文化(おたのしみ)タイプ

◎ 内容

お迎え ↓ 余暇・楽しみ活動 ↓ コープがごしま玉
 竜店で買い物(支援) ↓ 送り
 * いろんなもの一後援会・手芸・園芸・音楽など短
 歌・俳句食や歴史に学ぶ 等

3、通院お手伝い(通院)タイプ

◎ 内容

お迎え ↓ 通院 ↓ コープ玉竜店で買い物(支援) ↓
 送り

自分の目で
 見て買物
 ができるのは、
 嬉しいですね。



大きい事はできなくて
 も、ささやかでも役に
 立てるものなら、
 うれしい。
 なかまも増やして
 いくつになっても働
 けるって幸せ。

新たな出合いを大切に
 していきたい



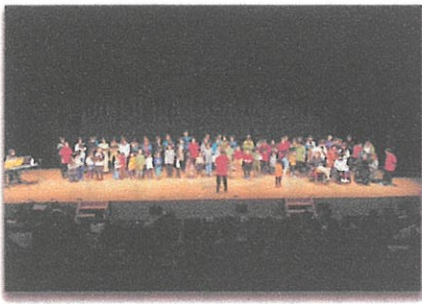
映画「ぞう列車がやってきた」鹿児島市上映会を終えて

2020年の幕開けの1月5日(日)に、県民交流センターにて長編アニメーション映画「ぞう列車がやってきた」の上映会が開催されました。子どもの権利条約30年、鹿児島子ども療育センター(現むぎのめ子ども発達支援センター)りんく(35周年を記念し、25年目を迎えた鹿児島障害児者父母の会(県父母)と共に、全県下に、それぞれの地域に子どもを真ん中にしたつながりの輪を広げようと企画され、鹿児島市がその1回目の上映会となりました。

約25年前、まだ療育の場すらなかった時代に、「自分の子どもには間に合わない、けれど未来の子どもたち、母親に同じ思いをさせたくない」と立ち上がり、「ぞう列車がやってきた」上映会を成功させた県下各地域の親たち、それをきっかけに自分たちの地域に療育の場ができた歴史を改めて学び直すところから取り組みは始まりました。

この映画は25年前の作品ですが、子どもから高齢者まで、誰が見ても戦争がもたらす残酷さ、命の尊さ、大事なものを守り抜く情熱や人間のやさしさなど、たくさんのものを感じることができるといえます。

平和でなければ、子どもたちは安心して育つことができません。虐待や不登校、家族間の事件な



総勢50名を超える合唱団で、合唱構成「ぞう列車がやってきた」から2曲うたいました(2020年)



構成詩(下記参照)子どもの権利条約を基にわが子の育ちをつづりました

ど、安心が奪われる危機に直面した今の時代にも通じる映画であることも実感しながら、小学校や幼稚園保育園、保健センター、児童館、公共施設などを、お母さんたちは一軒一軒まわり、相手と顔を合わせ、自分の子どもの育ちの話もしながらつながっていきました。

合わせて、「上映会で地域の方々には私たちのおもいを伝えよう」と構成詩をつづり、麦の芽福祉会、るんるん大学合唱部や合唱団風さんと共に合唱団を組織し、親子で合唱にも参加しました。当日は800名を超える来場があり、1000名を超える方々が普及に協力していただきました。

上映後、多くの方々から「ありがとう」「構成詩に励まされた」「よかったよ」などたくさん声をかけていただき、実行委員会をはじめ多くの方の協力のもと大成功に終わることができました。本当にありがとうございました！

最後に、この「ぞう列車がやってきた」上映会は、これからも県内各地を走り続けます。県父母の会と共に、湧水町や伊佐市と県内各地域で上映会の準備がすすまられています。各地で上映会が大成功できるよう、これからも福祉生協の皆さんともつながっていききたいです！よろしくお願います！

上映会当日、4人の母親たちが子どもの権利条約の大きな柱である4つの権利について自身の経験をもとに構成詩を発表しました。その一部をご紹介します。

【 生きる権利 】

か細い泣き声 やっと両手に乗るほどのからだ ママに抱かれることなく 小さな保育器へこんな姿に産んでしまっておめんね。でも必死に生きようと、生きたいと頑張っているその姿に私は励まされた明日はどうなるかわからない そんな気持ちを口に出せばもろく崩れてしまいそうで必死に押し殺して 心で泣いてばかりだったあの頃たくさんのお医者さんとあたたかいお世話のおかげで すくすくと育ち家族や保健師さん、療育の先生方、そこで出会ったママたちに助けられ 支えられて笑いあえる今があるつらい時もうれしい時も手を取り合い、抱き合える仲間人はひとりでは生きられないばかりは生きたいんだ、から始まった息子の人生 その願いを叶え、希望をくれた、出会いにありがとう

【 育つ権利 】

泣いてばかりで言葉もないどう育てていけばいいんだろう？ いつもいっしょに泣いたねあなたの不安に目を向けず、自分の気持ちを優先してた怖かったね おめんね でももう大丈夫だよママは やっと気づいたよ！ 同じ思いで寄り添うことをそれは 何気ない日常にいっぱい転がっていることを、あなたに想いを伝えたいねえ 見て、お空が青いねえ、お花がきれいだねえくんくん、あなたの大好きなカレーのにおいフー！シャボン玉 ふわふわ 心もふわふわ 見つめあい笑いあったあなたがわたしに掲げて見せた、人差し指があなたの育ちのスタートだった心を奮わせ大きく育て あなたのペースでいいんだよみんなが見守るこのまじでのびのび豊かにいっしょに育つ仲間と共にこれからも

【 参加する権利 】

小さいこと、何もかも不安でしょうがなく、私から全く離れようとしなかった娘
でも「家族が大好き！」の気持ちから、今では「人が大好き！」にたとえみんなと同じようにはできなくても、「私もやりたい」「できるようにになりたい」
お友だちの中であふれる、そんな「私も！」の気持ち たっぷり自信をつけて、最近では近所の人やお店の人にも、自分から楽しそうに話しかけていく
娘のまだ拙い言葉かけも、あたたかく受け入れてくれる地域の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです
きっと娘もこの地域の一人として安心して暮らしていけるきっと大丈夫そんな大きな希望をくれた娘に、心からありがとう

【 守られる権利 】

息子がうまれたとき あなたを守ろうと誓った あなたのためにできることは何でもやろう！と決めたミルクがうまく飲めず、体重が増えない、歩くことも難しかったあなたのことを心配し将来が見えず、毎日不安に思っていたころ丁寧な医療を受け、繋がって寄り添ってくれる療育に出会い安心できる地域で家族や友人に囲まれて暮らし、あなたはたくさんの温かさを守られて、ゆっくりじっくり育っていくことを知った
救いを求めるときに、その手を引いてくれる社会 大きな希望を胸に、みらいへと歩むあなたの笑顔を見てたくさんの当たり前になっていたことに気づくことができたあなたに、そしてあなたを守ってくれている社会にありがとう

今昔物語 「ぞう列車」

ゾウのおみこを製作中



大きなぞうさんのおみこしをとともに子どもたちの笑顔を会場に届けました!(1992年)



ゾウのおみこしを子どもたちがかついでいる(1992年)



天文間で、子どもたちと一緒に上映会アピールと街頭署名(1992年)

発達保障 はじめの一步の上映会

1984年、鹿児島子ども療育センター(現在の子ども発達支援センターりんくの前身) 誕生のきっかけとなった「あすなる療育相談室」が大迫より子さん(現園長) によって開設。「鹿児島に発達障害の子をくろう!」と親の会や賛同する学校の先生たちや保健婦さんらが夢を熱く語りながら全県下20箇所まで『ぞう列車がやってきた』の上映に奮闘。986年鹿児島子ども療育センターが開所して以来今日までに障害をもつ子どもとその家族の皆となる療育の場は県下隅々200ヶ所を越えました。まさにこの上映会の取り組みは、全ての子どもたちの命が守られ発達保障される初めの一步となったのです。

長編アニメ「ぞう列車がやってきた」



完成した映画ポスター

戦争から象を守り抜き、平和のシンボル・象列車を走らせた動物園の裏話を描いた長編アニメ「ぞう列車がやってきた」を鹿児島県内各地で上映しようと、母親たちが草の根運動を始めた。試写会を見た母親らは「人の優しさと勇気、平和の尊さを教えられた」と感動し、共感の輪を広げようと、「レールをつなげ君のまちへ」と訴えている。

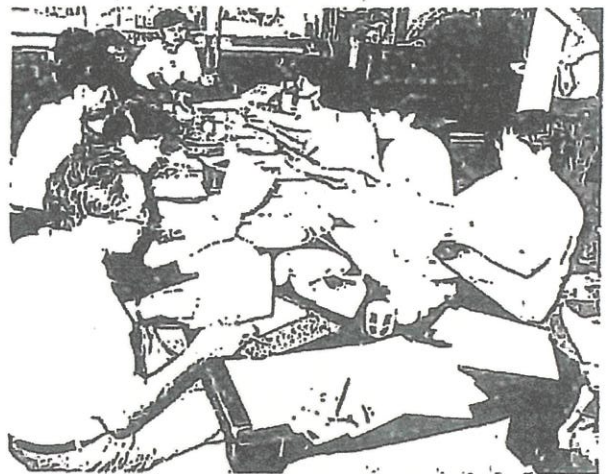
映画(監督、脚本加藤寛)は二時間。今年一月、鹿児島市で障害児の療育をして

「勇気・平和」に共感 上映進める運動始まる

鹿児島市

いる妻の芽福祉会・鹿児島二頭をしようと、特別仕立ての象列車に乗って集まることが映画化を知った。四月の完成と同時に障害児の親、教師、医療関係者と鹿児島での上映実行委員会を組織した。同福祉会が米倉完成を自指している園舎建設に資金を充てようとの狙いもある。

戦争中、多くの動物が全国で殺されたが、象は名古屋市の東山動物園にいた。二頭だけが守り残された。戦後、全国各地の子供たちが



鹿児島での上映に情熱を燃やす実行委メンバー

サザンホールでの上映会

(南日本新聞社など後援) 人が、合唱構成「ぞう列車」は午後三時から、オープニングで鹿児島市の市民合唱団「風」と、鹿児島大合唱部子ども療育センター0903の「KMC」の計五十

▲「ぞう列車がやってきた」 上映運動

1991年7月~1992年3月

つながり通信

鹿児島地区 ひとむぎ診療所



御年96歳、診療所の人気者
笑顔がチャーミングなYさん。
 酸素吸入しながら南天の木で、
 杵と臼のお守りをケースいっば
 いに作っていただきました。
 マスクは、手縫いで手作り。注
 文が多くて、まだまだ作らにや
 いかんと忙しそうです。



一つ一つ、小刀で削って、「難(南天)を
 逃れるように」と願いがこもったお守り。
 昔は「はしか」にかからないようにお守り
 として子供の肌着の背中に縫い付けていたそ
 うです。

「歩く姿は百合の花〜」

顔を見せるのが恥ずかしいから
 「歩く姿は百合の花〜」と後ろ
 姿ならと許可を頂きました。



大隅地区 シオン舎

シオン舎は、大隅半島の根
 こ部分の曾於市大隅町、国道
 269号線都城から鹿屋へ向か
 う途上、八合原大地の畑の中
 に有り、うどん店『ふくろう』
 を開いています。うどんが主体
 で蕎麦もあります。
 具材は、裏の畑にいろいろ少し
 ずつ農業班のなかまたちがても
 を摘んで使い季節によって彩り
 が変化、地元の高齢な方々が
 寄って、ゆったり食して下さい
 ます。忙しい方には敬遠されて
 いるよう(ちよっとスローペース
 なのかな・・・)。



うどん店「ふくろう」と仲間たち

今の荷は、菜の花新芽をから
 りと揚げた天ぷら。もうすぐ
 タラの芽が定番です。
 ニコ大隅地区は畜産の町、近
 くに家畜市場があり、牛の競
 りが毎月末に三日間開催され
 ます。その折は近隣から50
 0頭〜日ほど集まります。
 そこにシオン舎のなかまが作っ
 ている。パン、菓子芸手品等を
 持って出店させてもらい、なか
 まがにこやかに対応です。



農業班の仲間たち



厨房で働く仲間たち



ひとむぎ診療所 院長 齋藤 裕
(さいとう ゆたか)

新型コロナウイルス感染症が世界的にひろか広がり、我々の生活全般に影響が出ています。この感染症を過剰におそれず、また侮ることなく、この困難を乗り越えていきましょう。

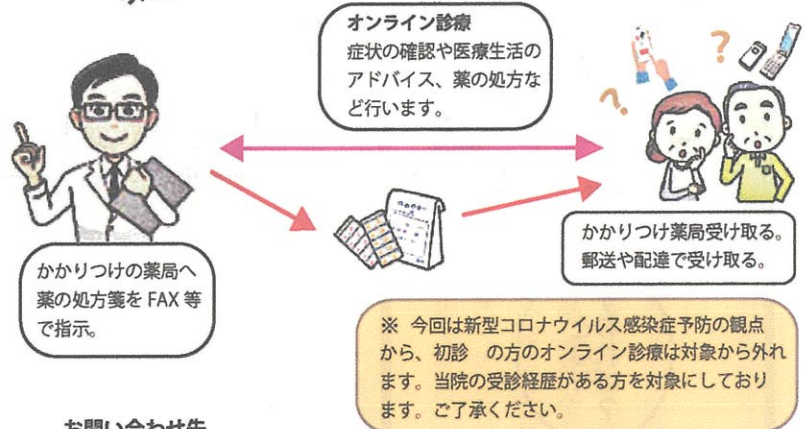
私は島根県出身、妻の本籍は国分で祖母が鹿児島初の女性新聞記者でした。縁あって吉野の地に診療所一昨年12月に開院しました。高血圧症、糖尿病などの生活習慣病、慢性疾患、がんの緩和ケアなどを在宅や外来で診ています。

また、注射が痛くないと評価されています。(^^)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前 9時～12時30分	○	○	○	○	○	○	×
午後 13時30分～18時	○	○	×	○	○	×	×

オンライン診療開始致しました

新型コロナウイルス感染症で注目を集める電話やスマートフォンを使いオンライン診療。
今月より、当院でもオンライン診療が行える環境を整えました。



お問い合わせ先

福祉生活協同組合むのぎめ ひとむぎ診療所
鹿児島市吉野1丁目40-26(吉野温泉前) ☎099-216-7260



はなのゆ薬局

ひとむぎ診療所の前、吉野温泉よこ



LINE@友だち募集中。



● 営業時間
月～金 9～18時
土曜日 9～13時

〒892-0877
鹿児島県鹿児島市吉野1丁目41-6
☎099-295-0400
FAX 099-295-0407

処方箋を写メして送付するだけでお薬をお渡しできます。健康状態、お薬、飲み合わせなど様々なご質問に対応いたします。お時間が合えば、配達も致します。どちらの病院の処方せんも受け付けております。心を込めてお薬をお渡しし、渡した後もフォロー致します。お待ちしております。

E-mail qqan5fu9k@grace.ocn.ne.jp
URL:http://muginome.jp/



ひとむぎ診療所

内科・リハビリテーション科 院長 齋藤 裕 内科医

地域の皆様のかかりつけ 診療時間 月～水・土(AMのみ)

9:00～12:30

13:30～18:00

● 外乗りハビリ

● 通所リハビリ

● 訪問リハビリ

● 休診日

日・祝日

● 訪問診療もお気軽ににご相談下さい。



☎099-210-7260 (福祉生活協同組合むのぎめ)

吉野一丁目40-26



吉野温泉

炭酸水素塩泉の岩風呂

- ジェットバスなど吉野ではおなじみの温泉です。歩行浴で運動不足解消。

毎週木曜日と毎月26日は(ふるの日)で、ポイント2倍の日です。!



☎099-244-2610 鹿児島市吉野1丁目41番6号

地域と共にある

せきよしの物産館

世界遺産「関吉の疎水溝」観光もバッチリのロケーション
地域農家の新鮮野菜、卵などが人気です。

今後もイベントがありますのでお見逃しなく!



☎099-208-0510 鹿児島市下田1874

私は

アーティニースト

宮里孝

「みやさと たかしさん」
「ふるさと」発「家族」着
宮里孝書画展ふるさと
とは私のルーツ。

「ふるさと」発「家族」着 宮里孝書画展ふるさととは私のルーツ。
家族は私のルーツ。私の書画展は、ふるさと「伊佐敷」鹿児島県南大隅と家族のいる「福岡」で開催しました。ルーツに還り、人々の目に触れ、心に届いた書と絵画は、宮里孝の生き様を語り、私の存在そのものとなりました。私のいのちの願いが、またひとつ叶いました。



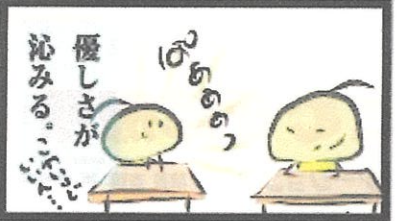
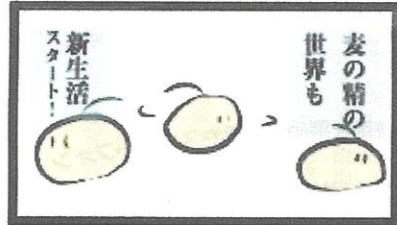
南大隅支所所長に「ふるさと展」のご挨拶をいただき、宮里さんから御礼を渡しました。



展示作品の一部



コロナ自粛で
スタートリセット 作画 もちはしまみ



24時間から

(ボランティアまち案内人)

お金欲しければ身を切れ



「宝山ホール」に「白波スタジアム」。

皆さんご存じのように、これは鹿児島県文化センターと県立鴨池陸上競技場の愛称です。県から命名権を獲得した西酒造と薩摩酒造が、それぞれの代表銘柄名を各施設名に生かしたのです。

命名権とは、行政機関が財源を得るために用意した制度。文化・スポーツ施設などの命名権を企業に付与する代わりに、権利を得た企業からそれなりの権益料をもらう仕組みです。企業は公施設に自ら命名することで、その知名度を高めることができるメリットがあります。鹿児島県の施設では他に平和リース球場もあります。これは、県立鴨池野球場に平和リースが命名しました。

この4月から鹿児島市も命名権を導入。「西原商会アリーナ」や「川商ホール」などが登場することに、と言われても、どこのことかよくわからない人もいます。鹿児島アリーナと市民文化ホールのことなのですが、無理もありません。

「宝山ホール」と「白波スタジアム」は、ともに有名焼酎の名前で、すし一般的な名詞でもあるため、なじみやすかったと考えます。しかし平和リース、西原商会、川商に至ってはいかなるものでしょうか。各社に失礼ながらそれほど有名でなく一般名詞でもなくて浸透・普及するのに相当時間がかかるのではないのでしょうか。この責任は、命名権の流行に悪乗りした行政側にあります。そんなにお金が欲しいなら、もうい過ぎの議員報酬や無駄な事業をカットするなく、もっと身を切るべきでは。

(のせけんぞつ)